



## こゆび ま くすりゆび ま 小指を曲げると、なぜ薬指も曲がるの

### だいのう からの、めいれい つた しんけい げんいん 大脳からの、命令を伝える神経が原因

わたしたちが <sup>からだ うご</sup> 体を動かすとき、その <sup>めいれい だ</sup> 命令を出しているのは <sup>だいのう</sup> 大脳です。 <sup>だいのう</sup> 大脳から <sup>で</sup> 出た <sup>めいれい</sup> 命令が、 <sup>しんけい つた</sup> 神経を伝わって <sup>きんにく つた</sup> 筋肉へ伝えられ、 <sup>からだ うご</sup> 体が動くのです。

<sup>て ゆび</sup> 手の指の場合、 <sup>ばあい こゆび</sup> 小指に <sup>めいれい つた</sup> 命令を伝える <sup>しんけい</sup> 神経と、 <sup>くすりゆび</sup> 薬指に <sup>めいれい つた</sup> 命令を伝える <sup>しんけい</sup> 神経とは、 <sup>おな ほうこう</sup> 同じ方向にかよっているため、 <sup>ひとつの</sup> 人では、 <sup>うまく</sup> うまく分かれてはたらかないのです。 <sup>それで、</sup> それで、 <sup>こゆび</sup> 小指を <sup>ま</sup> 曲げようとする、 <sup>くすりゆび しんけい</sup> 薬指の神経も、 <sup>おな めいれい</sup> 同じ命令を受けたように <sup>ま</sup> 曲がるのです。

しかし、これは <sup>くんれん</sup> 訓練すれば、 <sup>うまく</sup> うまく分かれてはたらくようになります。 <sup>たとえば、</sup> たとえば、 <sup>ピアノ</sup> ピアノなどは、 <sup>こゆび くすりゆび</sup> 小指と <sup>ぼん</sup> 薬指を、 <sup>べつべつ</sup> 1本ずつ別々に <sup>ま</sup> 曲げることができます。

### くすりゆび 薬指というのは

<sup>ぼん ゆび</sup> 5本の指の名前は、 <sup>なまえ</sup> 親指・ <sup>おやゆび</sup> 人指し指・ <sup>ひとさ ゆび</sup> 中指・ <sup>なかゆび</sup> 薬指・ <sup>くすりゆび</sup> 小指と、 <sup>こゆび</sup> ふつういわれており、 <sup>その</sup> そのうち、 <sup>おやゆび</sup> 親指・ <sup>なかゆび</sup> 中指・ <sup>こゆび</sup> 小指などは、 <sup>おお</sup> 大きさや <sup>いち</sup> 位置から <sup>なまえ</sup> ついた、 <sup>なまえ</sup> 名前であることがわかります。 <sup>しかし、</sup> しかし、 <sup>くすりゆび</sup> 薬指の名前は、 <sup>おお</sup> 大きさや <sup>いち</sup> 位置の <sup>どちらにも</sup> どちらにも <sup>あてはまり</sup> あてはまりません。

<sup>じつは、</sup> じつは、 <sup>くすりゆび</sup> 薬指という <sup>なまえ</sup> 名前がついたのは、 <sup>むかし</sup> 昔の <sup>ひと</sup> 人が、 <sup>くすり</sup> 薬を <sup>とかす</sup> とかすときや、 <sup>つか</sup> つける <sup>とき</sup> ときに <sup>つか</sup> 使っていたのが、 <sup>この</sup> この <sup>ゆび</sup> 指だから <sup>といわれ</sup> といわれています。

<sup>くすりゆび</sup> 薬指は、 <sup>ふだん</sup> ふだんでも <sup>あまり</sup> あまり <sup>つか</sup> 使われて <sup>おらず、</sup> おらず、 <sup>よご</sup> よごれて <sup>いない</sup> いないため、 <sup>くすり</sup> 薬を <sup>とかす</sup> とかすときや、 <sup>つか</sup> つける <sup>とき</sup> ときに、 <sup>よく</sup> よく <sup>つか</sup> 使っていた <sup>ので</sup> なのでしょう。(監修・保志 宏)

